

CLOSE UP!



# 甲状腺の病気の治療いろいろ

当院は、甲状腺内視鏡手術や甲状腺アイソトープ治療が可能な施設です。甲状腺の病気に関する様々な検査や治療に対応できます。



■説明は  
徳島大学病院  
写真中央：内分泌・代謝内科  
吉田 守美子(よしだ すみこ)  
右：食道・乳腺甲状腺外科  
青山 万理子(あおやま まりこ)  
左：放射線治療科  
川中 崇(かわなか たかし)

## 患者さんへ一言

甲状腺の病気は身近な病気で、情報もあふれています。薬、手術、アイソトープ治療と複数の治療方法があり、悩む方もおられるかもしれません。当院では複数の診療科が協力して、患者さんにあった最適な検査や治療方針を提案することができます。

## ● 身近な甲状腺の病気

甲状腺の病気には、機能性の病気と腫瘍性の病気があります。

機能性の病気とは甲状腺ホルモン分泌の異常のことです。甲状腺ホルモン過剰あるいは不足の代表的な病気として、それぞれバセドウ病と橋本病(慢性甲状腺炎)があります。

甲状腺の腫瘍は、良性と悪性(がん)、さらに腫瘍とよく似た過形成(腫瘍様病変・良性)に分類されます。

## ● 甲状腺の病気はどの科に行けばよいの?

当院では、甲状腺の病気は、内分泌・代謝内科、甲状腺外科、放射線科が協力して検査や治療にあたって、それぞれどのような検査や治療を行うのかを紹介します。



### ◎バセドウ病

甲状腺に対する自己抗体が作られ、甲状腺ホルモンが過剰に産生・分泌される病気です。

検査は、血液検査、超音波検査を行います。甲状腺シンチグラフィを行うこともあります。

治療方法は3つです。

#### ① 薬物療法

簡便なため第1選択となります。副作用が出た場合や、早く確実な効果を得たい場合には②や③の方法があります。

#### ② 放射性ヨウ素内用療法(アイソトープ治療)

放射性ヨウ素の入ったカプセル(写真)を内服する治療です。放射線科で行います。

#### ③ 外科治療

手術で甲状腺を摘除します。



アイソトープ治療のカプセル

### ◎橋本病(慢性甲状腺炎)

甲状腺に対する自己抗体が作られ、甲状腺に慢性的に炎症が生じる病気です。

血液検査と超音波検査で診断します。機能低下症に対して甲状腺ホルモン薬を服用します。

### ◎甲状腺腫瘍

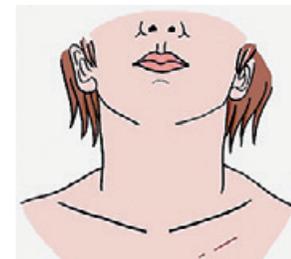
甲状腺の腫瘍は、まず超音波検査を行います。悪性が疑われた場合に、穿刺吸引細胞診を甲状腺外科で行います。悪性腫瘍の場合、約90%が乳頭癌です。

癌では手術が基本です。癌の進行具合によって、甲状腺とリンパ節の切除する範囲を決めます。甲状腺の癌は進行が遅く、性質もおとなしいタイプのもので多くです。手術によってほとんどの方は治癒します。癌の大きさが1センチ以下の小さい場合には、手術をせずに経過観察を行うこともあります。従来、甲状腺の手術は首の前に横向きに切開する、襟状切開という方法で行ってきました。当院では、症例に応じて内視鏡手術を行っています(図)。服を着た状態で見えにくい場所を切開して手術を行いますので、整容性に優れます。

甲状腺癌に対してアイソトープ治療を追加する場合があります(放射線科)。



<襟状切開>



<甲状腺内視鏡手術>